

指定管理者評価表(外部評価シート)

1. 基本事項

施設の概要		評価対象期間		平成28年4月1日～平成30年3月31日	
施設の概要		指定管理の状況			
名称	ふれあいの里可児	指定管理者	名称	社会福祉法人 可児市社会福祉協議会	
所在地	可児市中恵土2359番地70		所在地	可児市今渡682番地1	
設置目的	障害者総合支援法第5条に規定する障害福祉サービスを実施するため	指定管理期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日(3期目)		
		選定種別	非公募	利用料金制	採用(一部)
供用開始年月	平成9年4月	業務内容	(1) 次に掲げる障害福祉サービスの実施に関すること 障害者総合支援法第5条第7項に規定する生活介護 障害者総合支援法第5条第14項に規定する就労継続支援		
施設所管部署	福祉部 福祉支援課		(2) ふれあいの里可児の施設及び設備の維持管理に関すること (3) その他、ふれあいの里可児の管理運営に必要な業務		

2. 施設の運営状況

利用状況

項目	年度(1年目)	年度(2年目)
開館日数	244 日	243 日
施設利用者数	9,563 人	8,894 人
施設稼働率	99.6 %	100.0 %

自主事業実施状況

項目	年度(1年目)	年度(2年目)
開催回数	200 回	197 回
参加人数	9,254 人	8,984 人

主な自主事業の内容

実施年度	事業の名称等	参加人数
平成28年度	ふれあいまつり	430 人
平成29年度	ふれあいまつり	430 人
平成28年度	健康フェア	300 人
平成29年度	健康フェア	300 人
平成28年度	桜ヶ丘公民館まつり	200 人
平成29年度	桜ヶ丘公民館まつり	200 人
		人

3. 収支状況

収入

単位:円

項目	年度(1年目)	年度(2年目)	
	実績	計画	実績
寄附金収入	47,000	70,000	53,000
指定管理料	6,000,000	6,000,000	1,000,000
就労支援事業収入	10,172,956	9,931,000	9,661,174
障害福祉サービス等事業収入	75,186,977	71,714,000	75,529,812
その他	200,000	0	110,424
収入計 A	91,606,933	87,715,000	86,354,410

支出

単位:円

項目	年度(1年目)	年度(2年目)	
	実績	計画	実績
人件費	50,154,074	56,131,000	52,993,379
事業費	4,171,665	4,430,000	3,757,262
事務費	11,589,787	13,937,000	10,451,132
就労支援事業支出	9,478,675	9,775,000	9,774,911
その他			
支出計 B	75,394,201	84,273,000	76,976,684
収支 A-B	16,212,732	3,442,000	9,377,726

4. 評価結果

区分	評価項目	評価内容	一次評価(施設所管課)		二次評価(選定評価委員会)	
			評価理由等	評価	評価理由等	評価
業務の履行	事業計画書及び協定書に掲げる業務の実施状況	事業計画書や協定書に掲げる業務が確実に実行されているか	業務執行体制が明確に示されており、業務が確実に実行されていると言える。	B	職員研修及び人材育成に積極的かつ継続して取り組まれており評価できる。 利用者増や安全対策に配慮してより適正な業務履行に努められたい。	B
	人員配置及び職員研修の状況	必要な人員が確保され、職員研修も実施されているか	全体研修を年4回、定例のケース会議を年8回実施する等、職員の人材育成に取り組んでいる。	A		
	文書・帳簿の管理保存状況	管理業務に関する文書・帳簿は適切に整理保管されているか	適切に整理保管されている。	B		
	施設設備・備品の保守管理の実施状況	管理施設の設備・備品の保守管理状況は適切か	修理等が必要な場合は、適切に対応している。	B		
	緊急時の対応方法	緊急時の対応マニュアルや事後の対応への備えができていないか	緊急時の対応マニュアルが整備されている。	B		
	利用者の推移	利用者が特別な事情がないにもかかわらず前年度に比べ減少していないか	体調不良や他施設への移行等により、施設利用者は若干減少しているが、新規利用者の受け入れ等も行っている。	B		
サービスの水準	サービス向上及び経営改善に関する独自の取り組み	サービス向上等に向けた独自の取り組みは実施されているか	年間を通じて安定した作業量を確保し、平均工賃が全国平均や県平均を上回る実績を上げている。	A	作業の確保及び就労の開拓等に努められており、その結果全国平均を上回る工賃の実績につながっており評価できる。 苦情対応等への取り組みも適正であり、今後も再発防止に向け適切な対応に努められたい。自主事業についてもさらなる工夫に努められたい。 引き続き、利用者満足度の高いサービス提供に努められたい。	B
	利用者満足度調査における施設満足度	利用者の施設満足度は高いか	平成28年度にアンケートを実施し、約8割の回答率で、総合的な満足度は8割以上が満足・だいたい満足との回答をしている。	B		
	PR・情報提供の実施状況	様々な方法により、積極的なPRや情報提供が行われているか	特別支援学校(可茂・関・中濃)の見学受け入れや地域の行事に参加している。また平成29年度にホームページを更新している。	B		
	苦情処理の状況	苦情に関する帳簿が作成され、内容は職員に周知され、適切な対応がなされているか	緊急対応が必要な事案は朝礼で周知し、その他の事案はケース会議で周知している。	B		
収支状況	指定管理経費の経理事務の状況	指定管理費に関する経理事務は適正に行われているか	適正に行われている。	B	指定管理者の財政状況は安定しており、指定管理業務に係る経理事務も適切に実施されている。	B
	指定管理者施設の財務状況	指定管理者施設の財務状況は適正か	適正である。	B		
総合評価			良好な施設の管理・運営を行っている。 特に工賃水準の向上の実績は評価できる。	B	「所見」欄に記載	B

所見	<p>日頃から地域交流に努めていることが、作業確保及び就労開拓等に結果として表れている。そして、工賃が確保されることは利用者の活動に対する意欲の向上にもつながるため、地域への継続的な活動を期待する。利用者及び保護者の経年ごとの高齢化に的確に対応していくため、今後研修内容の検討を含め職員の更なる資質向上に努める必要がある。</p>
----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5. 参考(評価基準)

区別評価基準

業務の履行

評価	内 容
A	適切に実施されており、より効果的に業務が実施されている
B	適切に実施されており、特に改善等を要する事項はない
C	おおむね適切に実施されているが、その一部に改善を必要とする事項が見受けられる
D	要求事項が実施されてないか、実施されていても適切ではないため大幅な改善が必要である

サービスの水準

評価	内 容
A	サービス水準の向上が認められ、独自の工夫も多く見受けられる
B	サービス水準はおおむね維持されている
C	サービス水準の一部に低下が見られ、サービス向上の努力が必要である
D	サービス水準が低下していると認められるため、サービス向上に向けた大幅な改善が必要である

収支状況

評価	内 容
A	収支は計画に比べ向上が見られる。財務状況も良好である
B	収支はおおむね計画どおりと認められる。財務状況は良好である
C	収支のいずれか、又は両方が計画を達成していない。財務状況は良好である
D	収支のいずれも計画を達成していない。財務状況も良好とはいえない

総合評価基準(評価指標の のいずれかの基準を採用し、評価を決定する)

評価	内 容
A	全ての評価がB以上で、Aの割合が60%以上である
	適切に実施されており、評価できる点が多く、改善が必要と思われる重要事項もない
B	全ての評価がB以上で、Aの割合が60%未満である
	おおむね適切に実施されており、評価できる点もあるが、軽微な事項を含め改善が必要な事項がある
C	A・Bに該当せず、Dの割合が30%以下である
	適切に実施されている部分もあるが、改善が必要と思われる重要な事項もある
D	上記のいずれの評価にも該当しない
	改善が必要と思われる重要な事項が多く、早急な改善が必要である